

2025 年 9 月 2 日

業界初！気象・海象データと船舶性能モデリングを一つのプラットフォームで提供 統合型航海気象サービス「SeaNavigator」に HMS の船舶性能モデルを搭載 年間平均 5.3%の燃料削減実績で、運航の安全と効率の最大化を支援

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、統合型航海気象サービス「SeaNavigator」において、HD Hyundai Marine Solution(HMS)の船体性能モデリング「OceanWise」を搭載したルーティングサービスの販売を開始しました。

当社は、今年 1 月に HD Hyundai Group の子会社である HMS と MOU を締結しています。今回の新たなサービスは当社が長年培ってきた気象・海象データと最適な航路を選定する技術、そして HMS の船舶性能モデリングを組み合わせ、統合型航海気象サービス「SeaNavigator」上で提示します。これにより、HMS の船体性能モデリングと親和性が高い船舶運航会社において、より高度な航路最適化が可能となりました。安全運航の強化、燃料削減、CO₂排出量削減といった運航効率の精度を飛躍的に向上させます。

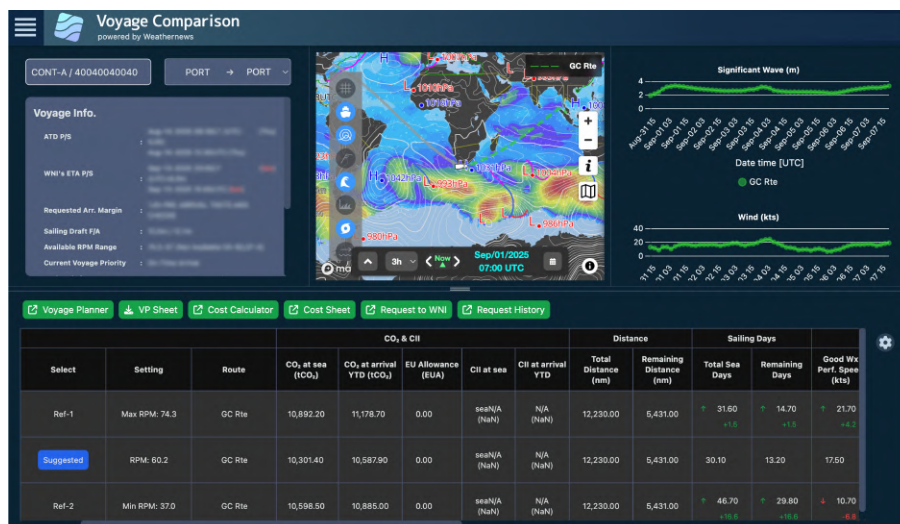
お問い合わせはこちらから	サービスサイトはこちら(英語版)
https://biz.weathernews.com/sn20241009/	https://sea.weathernews.com/seanavigator/

◆「OSR」サービスに HMS の船舶性能モデルを活用

当社は創業以来約 40 年間で、累計 100 万航海のサポート実績を持ち、「OSR(Optimum Ship Routeing)」サービスでは船舶の安全・経済的な運航をサポートしてきました。現在も「SeaNavigator」を通じて最適な航路選定をしています。今回のサービスは、各航海において気象要素はもちろん、HMS が持つ船体性能モデリング「OceanWise」を用いて、船舶が受ける波の抵抗や、プロペラの推進力など詳細な船舶の情報を反映した最適な運航ルートを提示します。これにより、航海の安全性を高めながら、燃料と CO₂排出を削減できる最適な航路を選定し、運航効率の最大化を実現します。

HMS は 2024 年時点で、世界の 600 隻以上の船舶に独自の船舶性能モデリング「OceanWise」を導入しており、8 隻の実証実験では年間平均 5.3%の燃料削減という具体的な成果を記録しています。今回当社の気象予測や最適な航路選定技術と組み合わせることで、さらなる効果の拡大が期待できます。

今後も最新技術を取り入れ、サービスの高度化を続けることで、より多くの海運事業者が安全で最適な航海をできるよう支援してまいります。



◆両社からのコメント

「今サービスは単なる機能の結合ではなく、気象情報と HMS の船舶性能モデルを一つのプラットフォームで統合実装した業界初の試みです。すでに世界の主要船社から高い関心をいただいております、今後もお客様ごとの最適化を通じて、実質的なコスト削減と ESG 価値の提供を進めてまいります。」

Sanghyub PARK/ Weathernews Korea

「今回の協業は、海運業界が直面する運航効率と持続可能性という二つの課題を同時に解決できる重要な転換点です。国際的な環境規制が強化される中、燃料削減と排出削減を同時に実現できる実践的なソリューションを船社に提供してまいります。」

Jinhyun PARK/Team Leader of New Business Strategy/ HD Hyundai Marine Solution

▼お問い合わせはこちらから

<https://biz.weathernews.com/sn20241009/>